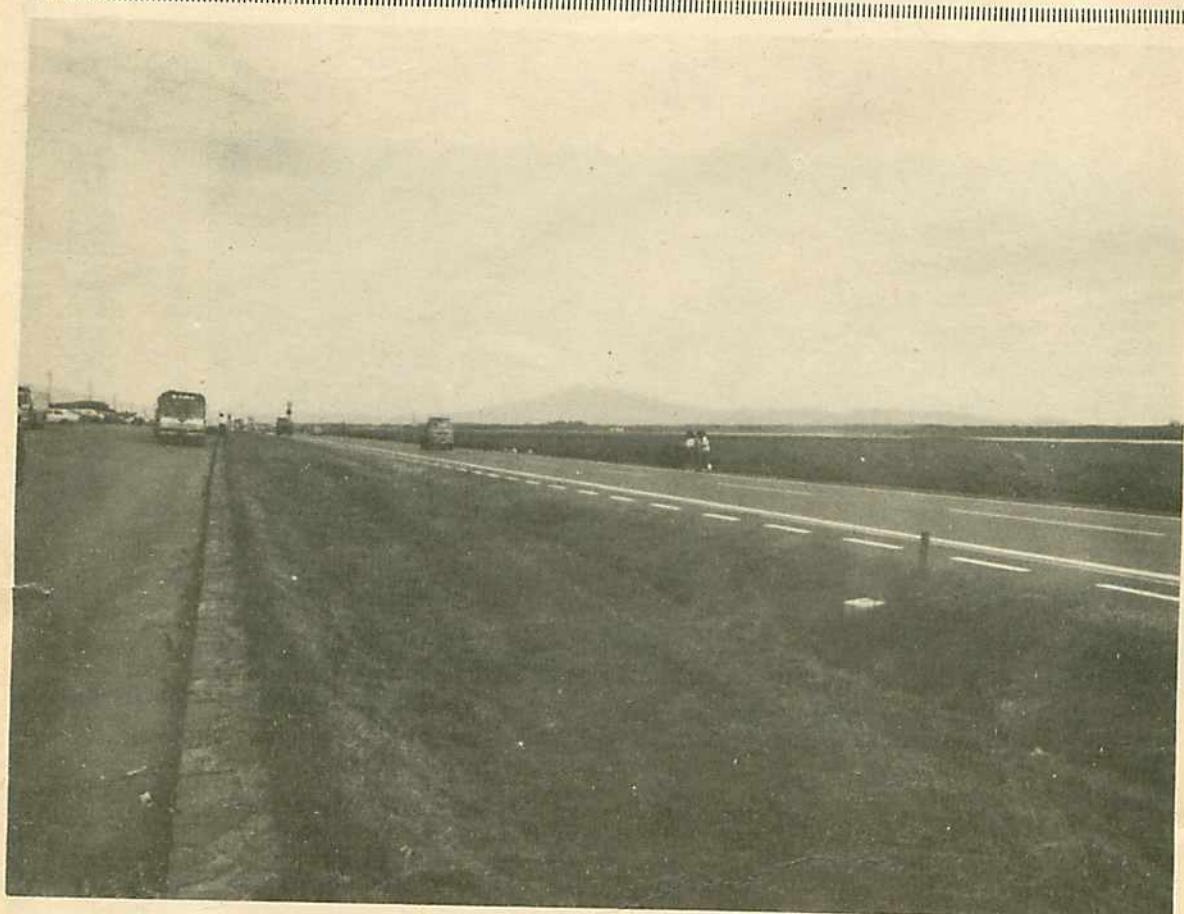


(1) 組合だより

# 組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合  
発行 昭和51年8月1日 第32号 印刷・アート印刷株式会社



近代社会における自由とは「自由の秩序」のなかでのみ享受できる「自由」であり、進歩革新とはいうが、われわれが走り出すときに不動の大地をけつて始めて走り出せるように、過去の伝統を踏まえ、これを尊重するものがよくなじ得ることで、保守の精神なきものに改革も進歩もあり得ないと思う。さて、農協における教育原則が、その骨髄を形成する本質原則であると認めたICA大会より既に十一年の歳月を経過した。北海道の系統農協職員も二万余人を数えるが、戦後の民主教育を受けたものが主流で、明治はもとより、大正生まれも数年で姿を消すことになるであろう。

(担当)



反対、教育  
勅語反対を  
叫ぶ教師の  
道徳教育

# 児玉由一氏（元組合長）逝く

ご会葬お礼

▲中標津体育館で行なわれた葬儀

元中標津農協組合長理事 児玉由一氏（雪印乳業会長）かねて病氣療養中のところ七月八日午後十時三十分逝去されました。（七十六歳）児玉氏は明治三十三年岡山県の生まれ。大正五年渡道、同八年には中標津町武佐（旧標津村）に転住し、以来今日まで地域開発の促進と、本道酪農の發展に寄与したいわゆる“酪農の父”といわれていた。戦後二十三年四月し三十五年六月まで中標津農協組合長を初め、北海道酪農協会根室支部長、根室生産連会長などを歴任、四十六年に雪印乳業社長、四十八年には同社会長に就任した。

また、二十二年から三期十二年にわたつて道議をつとめるなど根飼酪農の確立と農業団体の育成、さらに地方自治の發展のために業績を残し、これらの功勞により四十二年五月藍綬褒章、四十八年十一月勳三等瑞宝章を受け、四十九年には中標津町名譽町民にもなつてゐる。

最近も雪印会長のほか、北海道開発審議会委員、経団連理事、日本乳製品協会会長など数多くの要職につき第一線で活躍していただけに、同氏の突然の死は各界から強く惜しまれています。

児玉由一殿の町葬並びに根室管内農協葬に際しましては公私共にご多忙のところご会葬を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして葬儀万端滞りなく終了いたしました。

ここにご厚情を深謝し謹んでお礼申しあげます。

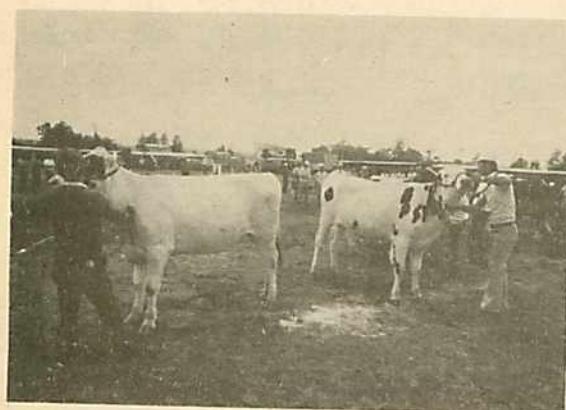
昭和五十一年七月十六日

中標津農業協同組合

喪主 児玉光彦  
外親戚一同



# 中標津農協畜牛共進会開く



7月12日に 139頭が出陳

好一さん  
匡視さん  
横田  
杉本

最優秀に

第七回中標津農協畜牛共進会が  
七月十一日、根室生産連畜産センターで百三十九頭が集まり行なわれた。  
審査の結果、団体で伊萬地区が優勝、準優勝は佐橋地区でした。  
個人で、最優秀牛は、未経産でガバネスペネット・セレナ号(横田好一)、高嶺、経産でボーテスピーリング・ミドリ号(杉本匡視、本侯)がそれぞれ選ばれた。

△ホルスタイン種 △六カ月未満  
カ月未満 ベネットマラソン、  
カ月未満 フエムコロック・マン  
カ月未満 フォーブス(福島広光) △十カ月未満 ガバネスペネ  
カ月未満 フト・セレナ(横田好一) △十八カ月未満 ガバネスペネ  
カ月の未経産 センタリバー

・ ライトシュー・ブリーム(中川弘)  
△二十二カ月未満  
ウエストヒル・アービグリップ  
△(松本正通) △四十六カ月以上  
経産牛 ボーテスピーリング・ミド  
リ(松本匡視) ◇  
△ホルスタイン系種 △六カ月未  
満 ベネットマラソン、  
△十八カ月以上未経産 ダイヤモ  
ンドクロス・クイン(上ヶ島国雄)  
△経産牛 ベックスパーク・クロ  
ス(宮田実)  
・ モデルテルスター(志賀正治)  
△十八カ月未満 ウイローヒル  
・ モデルテルスター(志賀正治)  
△十八カ月以上未経産 ダイヤモ  
ンドクロス・クイン(上ヶ島国雄)  
△経産牛 ベックスパーク・クロ  
ス(宮田実)

## 根室税務署だより

### ◆物品税のあらまし

### ◆相続税のあらまし

#### ● 物品税のあらまし

「物品税」というのは、一口で言え、しやし性、娯楽性、嗜好性などの高い物品にかかる税金です。その税率は、物品の種類ごとにそれぞれ定められています。

また、課税物品は、小売課税の物品と製造場移出課税の物品とに区分されております。

#### 「主な課税物品と税率」

##### ● 小売課税の物品

宝石、貴金属製品：一五%

じゅうたん……………一〇%

ゴルフ用具……………二〇%

##### ● (申告と納付)

申告と納付は、死亡した日の翌日から六か月以内にすることになつています。申告書の提出先は、死亡した人の住所地の所轄税務署

普通乗用自動車……二〇%

・ テレビ、ピアノ……一五%

・ ラジオ、香水……一〇%

・ 化粧水、炭酸飲料……五%

なお、教育用、社会福祉施設の事業用などに使われる場合には物品税を免除する制度があります。

#### ● 相続税のあらまし

##### 〔納稅義務者〕

相続や遺贈によって財産をもらった人が納稅義務者となります。

##### 〔控除額〕

債務を差引いた正味の遺産総額が、次の①と②の合計額(その合計額を「基礎控除額」といいます)を超過しているときは、相続税がかかります。

##### 〔法定相続人比例控除額〕

①定額控除額……二千万円  
②法定相続人比例控除額……四百万円に法定相続人の数をかけた金額

このほか、相続人が配偶者や未成年者、心身障害者などの場合は、更に一定額が税額から差引かれます。

## 組合員のための農協論

### 『組織づくり』のABC

「組織づくり」はむずかしい仕事だといわれる。

しかし手がけてみると案外うまくいくし、楽しい仕事だ。引つ込み思案がいちばんの大敵。

「組織づくり」は、ある組織を結成したらそれでおしまいというのではない。その育成や強化も「組織づくり」の重要な中身であることに注意していただきたい。

しかし、ここでは新しい組織づくりに焦点を合わせて、その手順を考えてみよう。組合員の経済的性格が多様化し、それに伴つて組合員の悩みや要求も複雑多岐にわたりて来ているから、これからは、既成の組合員組織だけで十分だというわけにはいかない。組合員組織の多様な育成に積極的に取り組む必要がある。

①方針を明確に——手順の第一は「組織づくり」の方針を明確にす

ることだ。できることなら農協と

組織」、「學習組織」、「協同組織」に大別することができる。みなさなさん一人一人の担当業務と関係づけてみて、このうちどの種類の組合員組織の育成が重視されるべきなのか。

「方針」を明確に、とはこここのことだ。

しての基本方針をもつことが必要だが、一舉にそんなものが出て来るはずのものではない。やはりそれぞの部署にある職員のみささん一人一人が、自分の仕事と関係づけて考え方を整理してみることから始めなければならない。「方針」というのは、要するにどうい

う種類の組合員組織を育てるのか

ということだ。日常業務のきびし

さの中では、事業推進型組織の育

成をという誘惑にかられるだろう。

つまり組織員を農協に結びつける

組織（「タテの組織」）を求めるよ

うとする。だが、そのような考

え方は近道であるようでは遠廻りになってしますることは、これまで何回かにわたって述べて来たこ

とから理解していただけると思う。

二つは、このようにしてつかんだ

周囲に山ほどころがっている。

二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることが。たとえ半年だけでも

をつかみ出すことのできる分析力

を身につけることだ。それにはや

はり学習だ。

学習への意欲さえあれば、勉強

を身につけることだ。それにはや

はり学習だ。

試してみてほしいものだ。

（家の光ニュースより）

を洞察することはできない。その機械や手がかりは、みなさんの

周囲に山ほどころがっている。「の機械や手がかりは、みなさんの

周囲に山ほどころがっている。

二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることが。たとえ半年だけでも

をつかみ出すことのできる分析力

を身につけることだ。それにはや

はり学習だ。

二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることが。たとえ半年だけでも

をつかみ出すことのできる分析力

を身につけることだ。それにはや

はり学習だ。

試してみてほしいものだ。

（家の光ニュースより）

を洞察することはできない。その機械や手がかりは、みなさんの

周囲に山ほどころがっている。

二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることが。たとえ半年だけでも

をつかみ出すことのできる分析力

を身につけることだ。それにはや

はり学習だ。

二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることがある。

の機械や手がかりは、みなさんの

周囲に山ほどころがっている。

「二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることがある。

の機械や手がかりは、みなさんの

周囲に山ほどころがっている。

「二つは、このようにしてつかんだ

多様な悩み、要求を整理し、組織

家の光」と「地上」を毎号精読す

るだけでも、どれほど分析力は高

まることがある。

の機械や手がかりは、みなさんの

周



又、直接受け入れた揚合、組織農政係まで連絡下さい。  
(バス旅行に参加してもらうためと労災保険に加入するため)

酪農實習第一陣  
九十二名着く

日本大学農獸医学部

やあ！今年も来ましたのでよろしくお願いします」と日大農獸医学部の九十一名第一陣が中標津に酪農実習にやって來た。

先月二十四日十一時過ぎの汽車で引率の先生と男子六十五名女子二十八名あわせて九十三名で、剣路まではフェリーでやつてきた。期間は第一陣は二十日し三十日

間とその後の十八名は三十日間、各受入農家に入り搾乳の手伝い、牧草の刈取作業等を実習していくもので、期待をしている。

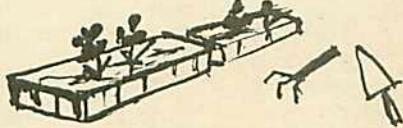
尚、農協ではこの日大生を含む  
アルバイト学生、実習生を対象に  
毎年行なっている「バス旅行」を  
今年も計画、八月三日実施致しま  
すので後程連絡しますから全員参

加するよう、又、直接受け入れた場合、組織農政係まで連絡下さい。(バス旅行)

に参加して  
もらうため  
と労災保険  
に加入する  
ため)

## 花壇美化 に奉仕

—東武佐婦人部—



組合事務所前にすばらしく、「オンコ」がありますが、これは、故上村松太郎氏から寄贈されたものです。

そのオンコの回りに、今年も花を植えに来てくれた婦人部があります。東武佐婦人部（白田政子支部長）の部員六名でアゲラタム、ケイトウなど、昨年に引き続きオンコの回り

をきれいにし  
てくれました。  
東武佐婦人部は、  
毎年行なわれている花壇  
コンクールでも優秀な成績  
を収めている花壇のベテラン  
の方々。



# 牧草地の表層剥離防止について

人・事・異・動  
（退職）

昭和五十一年八月三十日付

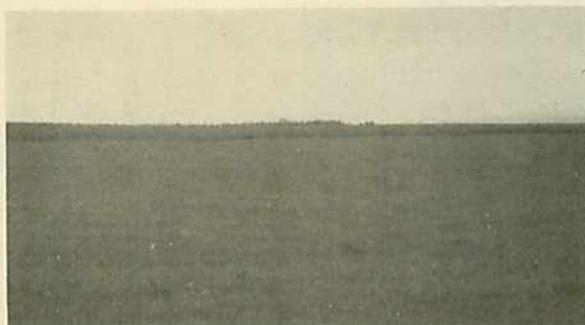
組合員の皆様に大変お世話になりました。

最近、管内においても牧草地が、しているので特に申し添えます。

道路工事用「のり芝」としてその表層が剥離され、業者に販売されている事実が各所で散見されます。が、その殆どは永年草地又は、低位生産草地と推察致します。

然しこのような行為は管内の火山灰地帯において、長年培養蓄積された表層土壌の肥沃性を極度に減耗されるので、農家の農地保全に対する認識を徹底せしめ、今後かかる行為を一切起さないよう御注意下さい。

なお、この様な行為を行なつた農家に対し、今後の補助事業採択は慎重に取り扱うと共に補助事業による造成草地においてその義務年限内にかかる行為を行なつた場合は、理由の何始いかわらず、当該補助金の返還を命ずること、



8月・9月

## 天気予報

札幌管区気象台

概況 八月は暑い日が多いですが、盛夏期は短かく、下旬には天候不安定で大雨も懸念されます。九月中旬からは晴天の日が多くなる見込みです。

八月

上旬には一時前線が南下し、西部で大雨の恐れもありますが、月半ばごろは夏らしい日が多いでしょう。しかし、下旬には再び前線が南下して、日本海側を中心の大暴雨などの降る不安定な天気となりやすくなるでしょう。しかし、中旬ごろからは移動性高気圧が通りやすく、天気は周期的に変わります。平均気温は並みないしやや低く、降水量は西部でやや多く、東部では並み。

九月

上旬は、前線の影響で秋雨が降ります。

## 根室ホルスタイン

### 共進会日程決まる

昭和五十一年根室ホルスタイン共進会は八月九、十日の二日間、根室生産連畜産センターで開催されます。

出陳頭数は約三〇〇頭です。

（異動）  
昭和五十一年七月一日付  
新入職員です。よろしくお願ひします。

遠藤 涼子（生乳係）→（営農資材係）

（採用）  
昭和五十一年七月一日付  
相木美代子（営農資材係）

浅沼 桜代（生乳係）

編集室

★根室地方で一番暑い季節を迎えた。

しかし、今日

は夏らしい暑さだと思えば、翌日にはセーターがほしくなるような寒さがきたりして、今年の秋の取入れまでの天候が気になります。

★さて、元農協の組合長であり、共済組合の初代組合長であった児玉由一氏が、去る七月八日、札幌の慈啓会病院に糖尿病で入院加療中のところ、肺炎を併発して他界されました。七十六歳でした。児玉氏は、農業団体員三十年間、また道議会議員を十二年間つとめ、その後雪印乳業関係で二十五年間と、その生涯を地域酪農発展にご尽力されました。

それらの功績に対し、勳三等瑞宝章を受けられ、また中標津町の名譽町民としてたえられ、他界されたことは各界から惜しまれています。皆様と共に故人の冥福を祈る次第であります。

候となりやすく、気温も低めの日が目立つでしょう。平均気温は並みないしやや低く、降水量は西部が、比較的晴天の日が多い見込みです。平均気温は並み、降水量は並みないしやや少ない。

# 粗飼料の価値づけを 組勘でしてみませんか

根釣農試 相田 隆男

はじめに

酪農經營を運営するにあたって、効果的に農業所得を得るため、經營のやり方をそれぞれ工夫していることがあります。その方法の一つとして個体乳量の増加があり、具体的手段として、(1)個体の改良、

(2)良質粗飼料の生産と飼養管理、そして所得を高めるために(3)經營費の無駄を省く等が考えられます。

(1)についてみると、優良牛の導入が簡単ですが資金的に負担が大きいためあげられ、また自家改良では世代更新に長い年月を要します。それに対し、(2)と(3)は自分の意志で行える方法と言えます。また現乳量水準段階ではこの部分の改善による効果が大きいものと考えられます。

それで今回(2)について考えてみたいと思います。

良質粗飼料の生産と飼養管理については、既に心がけられていることですが、その効果をどのように見るかになると明確な方法はありません。それで簡便的にですが組勘を使つて粗飼料の価値づけを

し、今後の改善方向を深く手立てにしたいと思います。

牛乳生産に必要な栄養として可消化養分総量(TDN)と粗蛋白量(DCP)があります。管内でTDNが不足し制限要因として問題になっています。TDN一kgからだけ牛乳が生産されるかに

TDNの量の差によるもので、これは粗飼料の品質と給与量に大きく左されるものであります。

組勘の利用について

組勘を利用して直接金額でみることもできますが、量的に把握される方がより内容を明確にできます。

まず、一年間の組勘から乳代及び畜産物収入と経営費種目をとり出します。(実際には十二月末の現在高で可)それを年平均成牛頭数で割つて各種目ごとに一頭当たりの金額を算出します。

乳代は基準乳価で割つて乳量に換算し(1)とします。

そして、濃厚飼料の給与量(2)

kgというになります。

濃厚飼料は一トンとえ四八〇〇kgの牛乳を生産したとすると、濃厚飼料からの牛乳生産量は二四〇〇kgというになります。

粗飼料の価値

したがつて、四八〇〇kgから二

〇kgの牛乳は、粗飼料からの栄養

によつて生産されたもので、これは乳牛の体の維持をしたほかに、これだけの牛乳を生産したことになります。この粗飼料から生産された乳量の大きさが、粗飼料の価値として評価されるもので、この生産量が大きい程、価値が高く評価されることになります。いま、A・Bの経営間の比較をしたとき

TDNが不足し制限要因として問題になっています。TDN一kgから生産される乳量は二八二〇kgになります。差し引き一九九〇kgが粗飼料から生産されたものになります。

また、この調査において粗飼料からの生産乳量を個々についてみると、最小はゼロkgから最大は三九五〇kgまで大きな巾があることがわかりました。それらの結果か

らみると、粗飼料からの生産乳量

す。これを乳量(1)から差し引くことによって粗飼料からの生産乳量になります。この粗飼料から生産された乳量の大きさが、粗飼料の価値として評価されるもので、この生産量が大きい程、価値が高く評価されることになります。いま、A・Bの経営間の比較をしたとき

TDNが不足し制限要因として問題になっています。TDN一kgから生産される乳量は二八二〇kgになります。差し引き一九九〇kgが粗飼料から生産されたものになります。

また、この調査において粗飼料からの生産乳量を個々についてみると、最小はゼロkgから最大は三九五〇kgまで大きな巾があることがわかりました。それらの結果か

らみると、粗飼料からの生産乳量

す。これを乳量(1)から差し引くことによって粗飼料からの生産乳量になります。この粗飼料から生産された乳量の大きさが、粗飼料の価値として評価されるもので、この生産量が大きい程、価値が高く評価されることになります。いま、A・Bの経営間の比較をしたとき

TDNが不足し制限要因として問題になっています。TDN一kgから生産される乳量は二八二〇kgになります。差し引き一九九〇kgが粗飼料から生産されたものになります。

また、この調査において粗飼料からの生産乳量を個々についてみると、最小はゼロkgから最大は三九五〇kgまで大きな巾があることがわかりました。それらの結果か

らみると、粗飼料からの生産乳量

によつて生産されたもので、これだけの牛乳を生産したことになります。この粗飼料から生産された乳量の大きさが、粗飼料の価値として評価されるもので、この生産量が大きい程、価値が高く評価されることになります。いま、A・Bの経営間の比較をしたときTDNが不足し制限要因として問題になっています。TDN一kgから生産される乳量は二八二〇kgになります。差し引き一九九〇kgが粗飼料から生産されたものになります。

また、この調査において粗飼料からの生産乳量を個々についてみると、最小はゼロkgから最大は三九五〇kgまで大きな巾があることがわかりました。それらの結果からみると、粗飼料からの生産乳量

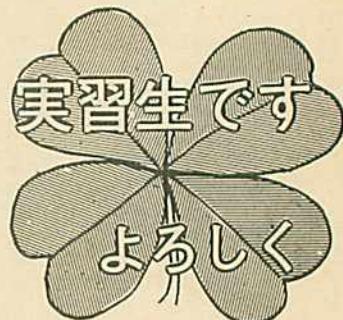
1表 牛乳1kg生産に必要なTDN量と生産可能乳量

脂肪率%	牛乳1kg生産に必要なTDN量kg	TDN1kgで生産可能な乳量kg	※濃厚飼料1kgで生産可能な乳量kg
3.0	0.285	3.5	2.5
3.2	0.290	3.4	2.4
3.5	0.305	3.3	2.3
3.7	0.315	3.2	2.2

※濃厚飼料のTDN含有率を70%として



久保善久君 二十二才  
本俣 藤井牧場  
宮崎県出身、宮崎大学農学部を今年三月卒業し、先輩である山口牧場で営んでいた嶺松さんの紹介で藤井牧場に来た。



北海道の印象について、広大な草地で伸び伸びと仕事の出来る気分は格別です。一年位を実習したいと考えている。(もし)藤井牧場で永く実習できるならもつといたい)

家は宮崎県で職人です。二人兄弟の長男。畑も少しあるが、兼業な為、自分で

は酪農専業をやりたいとのこと。

三月末に来て、五カ月になりますが、仕事にも少しあるが、兼業な為、自分で

は酪農専業をやりたいとのこと。

自走式ハーベスターで部落の人達と共にやつていてるので皆んなにいろいろ教えてもらひ、毎日が楽しいです。と彼は答え



小出正寿君 十八才

北進 川村牧場

大阪出身であるが生まれは東京、今年三月高校を卒業後、北海道にあこがれて川村牧場へ。去年高校の時に夏休みを利用して、計画別のある牧場で約一ヶ月と冬は西春別の牧場に三週間位実習した。

昨年八月に中標津農協に来て夏季実習をしたく頼んだが、あいに付けているので皆んなにいろいろと教えてもらひ、毎日が楽しいです。と彼は答えた。



古山明久君 二十五才  
新生 松岡牧場  
山形県出身、駒沢大学文学部卒業、(彼は大学を卒業する為、五間間自分で学費をつくり苦労を友にしながらがんばった青年です)。

松岡牧場を知ったのは、家の光岡牧場を紹介してもらった。今年五月五日に来て一年位をやりたい。

山形の実家は稻作をしているが本人は酪農が大好き。将来は酪農をやりたいそうである。しかし、独立してやるということは大変なものでもうベテラン。



家は東京で父は会員をしている。長男であるが、酪農が好きな為自分の意志を通して来道している。五月九日に来てもう三ヶ月、今では搾乳はだいたい出来るとのことです。

今年のこの暑さは、すごいでね。と彼はいう。それでも今いる日大生と牧草の刈取りに汗を流してがんばっている。

実習は一年位を計画、酪農を勉強するためにいろいろとがんばつて、将来のために役立たせるの

ことをだと考えている。酪農はまつたくの素人であるからもつともつといろ／＼なことをおぼえたい。

今の仕事はたいして辛くはない。自分で選んだ道(文学科から農業はまつたくのハタケ違い)だからやる以上一生懸命がんばらなくちゃ。(高校は農業主木科を卒業している)普通自動車免許を今年五月に取得したばかりだが、毎日

の様にトラクター、車を乗つている。自分で運転してもらいたい。

業はまつたくのハタケ違い)だからやる以上一生懸命がんばらなくちゃ。(高校は農業主木科を卒業している)普通自動車免許を今年五月に取得したばかりだが、毎日

の様にトラクター、車を乗つている。自分で運転してもらいたい。

## 釧路方面管内の事故

区道	発生	死者	傷者
北海道	50・6 1362	28	2002
	51・6 1412	47	1914
	累計 7171	182	10351

区道	発生	死者	傷者
釧路方面(道東)	50・6 235	3	326
	51・6 236	7	312
	累計 1060	38	1538

警察だより

交通事故の  
絶滅を期そう!!

ゆっくり走ろう北海道

◎きっぱりことわる  
勇気を!!

(2) 車はいつでも止つてくれるものと思い、車のすぐ前で手を上げながら飛び出すこともあります。

(3) 車の方を見ていたり、何かほかのこと気にとられたときに、車のことを忘れてしまうことがあります。

(4) 坂道や、見透しの悪い通りから急に飛び出することがあります。

(5) 運転者には全く予測のつかない行動に出ることがあります。

この道路での遊びによる交通事故を防ぐため、家庭では危険な遊びをさせないよう、判りやすく指導して下さい。

また、運転者の方でこのような遊びをしている子どもを見かけたら、一声かけて注意をしたり、場合によっては安全な場所に移動させましょう。

悲しみはもう一めん  
夏休み中の子供を交通  
事故から守ろう!

このものの特性を知つて安全運転に心がけましょう。

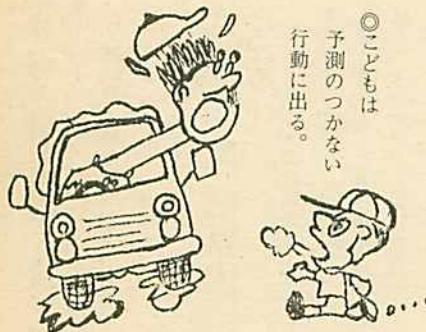
こどもは、とつさの場合に危険から逃れたり、避けることの適切な判断ができず、その動作もふいものでです。

運転者は、こどもの特性をよくつかんで、たとえこどもが予想外の行動に出たときでも、それに対するできるよう慎重な運転に心がけて下さい。

## ●こどもの特性

(1) 遊びに夢中になるとそれに気がとられて、目の前に車が現われても気づかないことがあります。

●こどもの特性



50年8月の被災状況(全道)

被災内容	被災数
死者	11名
行方不明	1名
負傷者	14名
家屋全壊	22戸
・平壌	49戸
・流失	11戸
床上浸水	7,222戸
床下浸水	16,621戸
道路欠墜	641ヶ所
橋の流失	121ヶ所
がけくずれ	1,93ヶ所
り災世帯	7,633世帯

早い避難が安全第一  
台風に備えて～水の事故防止～  
さあ夏です

★台風が近づいたとき  
窓や板ベイなどは、良く点検して風に弱いところは補強する。

いま、そこで元気な声が聞こえていたこの子が、もうなにも言つてくれない。

・テレビ、ラジオなどの気象情報に注意する。

こんな悲しいことが、

・停電に備えて、懐中電灯、ロードを用意する。

・ガラス戸や雨戸など、吹きとばされないように外から板をあてがつて補強しておく。

★避難するときの注意  
・警察官、役場職員、消防団員の指示に従つて避難する。

水恋しい夏に向つて、毎年水の事故が多くなり、昨年七月と八月に全道で七十八名が亡くなっています。

・電気やガスなど、火の始末と戸締りを完全にしておく。

・できるだけ、明るいうちに早目に避難する。

・老人や子どもは早く避難させる。

・ひとりだけ避難しないで、家族か近所の人といつしょに避難する。

◎毎日遊びなれた川や池への転落、あるいは水泳中の事故です。

水遊びの愉しさは知つていても水の怖さを知らないことが第一の原因です。

～子供は遊びの天才～  
危険な時には“愛の一聲”



子どもを見たら、みんなで注意し、愛の一聲をかけてやりましょう

こどもを見たら、みんなで注意し、愛の一聲をかけてやりましょう

# 家畜共済の引受まとまる

## 一頭平均共済金額十三万円

六月二十日で、一勢に切替えられる家畜共済の引受は、組合員の皆さんのご理解とご協力のもとに、好成績のうちに終了しました。

補償の充実が一段と強められたかたちとなりました。

これにともなう組合員負担の

掛金は、一億四千一百万円余となります。またこれにともなつて、組合員の皆様にお返しする加入奨励金は、總体で六千二百九十三万円余となります。

また事務賦課金は四千五百三十四万円となります。

今回まとまつた引受の数字については、昨年の成績と対比して、別段でも示してあります。加入頭数、共済金額とも昨年を上まわり、特に一頭平均の共済金額が上まわつたことによって、

この掛金、賦課金の徵収方法

は、例年通り、六月、九月、十一月、三月の四回にわけて戴きます。

下図に共済掛金通知書を示しましたが、これも、近々皆様の手もとに送る予定ですが、この表の見方について、少々説明を加えてみます。

まず、コードは農協のコード番号ですが、コード前に「N」と着きますが、これは中標津農協という意味で、計根別農協の方には「K」とされます。

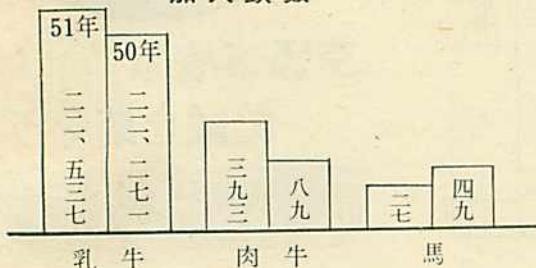
氏名はカタカナになります。

そして氏名のあとに、「10」「30」「51」と番号が入りますが、これは畜種を示すもので、10は乳牛、30は肉牛、51が馬となります。

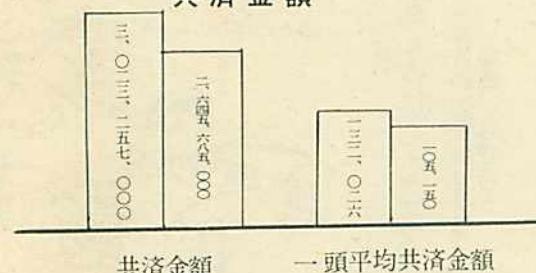
次に調定額という構ですが、これは年間に納めていた多く掛け金、賦課金の合計額で、下段に長くワクを組んであるのが、四回にわけて徵収する金額です。これが、掛け金通知書の説明です。

次に加入奨励金についても、年四回にわけて、お返しするわけですが、この内訳書についても下段に示しましたが、返す時期は、掛け金をいたゞいた月の翌月ということです。七月、十月、十一月、四月となります。

加入頭数



共済金額



共済金額

一頭平均共済金額

## 共済掛金通知書

(昭和 年度共済掛金通知書

コード

氏名

畜種

乳牛

10

掛金

賦課金

掛金計

肉牛

30

掛金

賦課金

掛金計

一般馬

51

掛金

賦課金

掛金計

あなたの共済掛金微取額は左記の通りですので御通知します。

昭和 年 月 日 中標津町農業共済組合

微取予定月(6月)

微取予定月(9月)

微取予定月(12月)

微取予定月(3月)

掛金	賦課金	掛金計	掛金	賦課金	掛金計	掛金	賦課金	掛金計

## 乳牛の雌共済加入奨励

コード 氏名

多頭加入  
奨励金

補償充実 奨励金内訳	加入頭数	平均共済金額	奨励金価値	補償充実奨励金
		円	円	円

支払予定月 7月 支払予定月 10月 支払予定月 1月 支払予定月 4月

円 円 円 円

あなたの奨励金は左記の通り支払致します。

昭和 51年 6月 21日

中標津町農業共済組合

農業共済組合

## 初代中標津共済組合長

## 児玉由一氏逝く

七月八日 七十六才で

共済組合の初代組合長  
児玉由一氏が去る七月八日、七  
十六才で急逝されました。

児玉氏は、共済組合が創立し  
た昭和二十四年四月、初代組合  
長に就任、共済事業の始動にご  
尽力されました。

その当時のことを、児玉氏は  
共済組合創立二十周年の記念誌  
に、次のように書いています。

——前文略—— 当時の社会一般  
の情勢、わけても、農業界の  
おかれた状態は筆舌では表現  
出来ない程に大変なものでした。  
た。

しかし、この根釗地方は、  
その気象条件等から一早く酪  
農へ切替えががす、められた、  
めに、——後下略——

根室農業を振返つてみた時、  
確かにそれは大変なもとであつ  
たわけですが、児玉氏は、こう  
いう中で、広く未来をみつめな



がら、その指導にあり、酪農日  
本の理想像を追い続けてきたわ  
けです。

根室地方の主畜農業への切替  
えも、その原動力となつてす、  
めでまいりました。

こうした氏の諸々の功績に対  
して、黒三等瑞宝章がおくられ  
また、中標津町の名誉町民とし  
て、後継指導者の鏡となつてい  
ました。

児玉氏は晩年、糖尿病をわざ  
ら、札幌の啓会病院に入院  
し加療中でありますたが、肺炎  
を併発して、七月八日午後十時  
三十分他界されました。

衷心よりその死を悼むと、も  
に、安らかな冥福をお祈り申  
し上げます。

## 総代決まる 55名

共済組合の総代は、任期満了に  
ともない、このほど改選されまし  
た。

それぞれの選出区と総代の氏名  
をのせましたのでよろしくお願ひ  
致します。なお、総代は共済連絡  
員も兼務されますので、何かとお  
骨折をいたゞくことになりますが  
一つよろしくお願ひ致します。

開	榮	・	東	計	根	別	吉	田	義	夫
中	西	上	西	上	根	別	根	岸	民	雄
拓	南	中	西	西	若	竹	新	佐	藤	雄
當	中	常	酪	大	旭	東	養老牛	北養老牛	佐	杉
幌	本	盤	大	麻		養老牛	北養老牛	根岸	佐藤	吉田
南	別	本	・	・		牛	・	民	本	義
拓	本	・	・	・		・	・	雄	亮	夫
當	西	本	・	・		・	・	庄	太郎	雄
幌	北	本	・	・		・	・	次郎	義明	夫
南	別	本	・	・		・	・	井	清	夫
共	別	別	・	・		・	・	星	九十九	夫
榮	別	別	・	・		・	・	笠	喜宗	夫
阿	河	齊	小	本	鹿	東	養老牛	北養老牛	佐	和泉
相	本	本	本	本	荔	養老牛	北養老牛	根岸	星	本
河	本	本	本	本	佐	・	・	岩	笠	亮
齊	本	本	本	本	倉	・	・	野	井	夫
小	本	本	本	本	本	・	・	本	和	夫
本	本	本	本	本	株	・	・	庄	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	次郎	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	井	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	義明	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	庄	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	次郎	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	井	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	成	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	成	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	協	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	和	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	立	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	中	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	共	田	夫
本	本	本	本	本	田	・	・	農	田	

組合員名	上旬	中旬	下旬												
第二俣落地地区															
コ白田 穂	1	1	2	バ板橋 松寿	0	1	0	コ西村 徳守	2	2	1	コ内山 黙	1	1	2
コ新谷 正二	0	0	1	バ岩井 昇	0	0	1	コ西垣 洋	—	—	—	バ八木原明治郎	0	0	0
コ井口 精一	1	2	2	バ服部 一好	0	0	1	バ保科 清	2	0	1	バ中浦 健夫	0	0	0
コ川上 茂	1	1	2	バ遠藤 太一	0	0	0	バ松岡喜代之助	0	0	0	バ前原 秀隆	0	1	1
コ石橋 喜作	0	0	0	バ遠藤 幸吉	0	0	1	バ田代 昭	1	0	1	バ町田 芳照	0	0	0
コ長谷川 寿	1	1	0					バ井ノ口定則	0	0	0	バ房川 喜清	0	0	0
コ花尻 武夫	1	1	2	バ高橋 正三	0	1	2	バ安江八五郎	1	0	1	バ宮脇 正治	0	0	0
バ中条 由治	0	0	0	バ松村 晴由	0	0	1	コ剣持 広昭	0	0	1	バ滝本 信孝	1	1	0
バ中条 幸作	0	0	0	バ小山 美芳	0	0	1	コ斎藤 別	1	1	0	バ富沢 保男	1	0	1
バ奥村 保章	1	0	0	コ本村 正春	0	2	2	コ白石 孝治	2	1	1	バ谷村 茂夫	1	0	0
コ萱岡 信二	1	0	3	バ菅原 清	0	0	2	バ山口 広幸	1	2	0	バ武田 三郎	0	0	0
バ高橋 昌信	1	0	0	バ上村 太平	1	1	1					バ藤井 弘美	0	0	0
コ中塚 秀夫	2	3	4	バ上村 政則	1	0	1					バ北村 一仁	0	0	0
コ黒田 定利	1	2	1	コ上村 力	1	2	0	バ沖 一美	0	1	0	バ杉本 匡視	0	0	0
バ藤原 勝一	0	0	0	バ松本 勇	0	0	0	バ片岡 宅次	0	0	0	バ佐藤 戴康	0	0	0
				バ藤原 信男	1	1	1	バ弾正原 正春	1	0	1	バ松本 金市	0	0	0
コ秋山 実太	0	0	2	バ遠藤 忠義	1	1	1	バ国光 昭	0	1	0	バ飲野 一郎	1	1	1
コ佐藤 春行	1	2	2	バ山下 鉄男	0	0	1	バ遠藤 直行	0	0	0				
コ佐藤 一二	1	1	1	バ阿部 幸一	0	1	0	バ佐伯 桀次	1	1	0				
コ清原 由太郎	1	1	2	バ上ヶ島 春雄	1	0	0	バ来栖 寛	0	0	0	バ横田 国雄	0	1	0
バ湯山 稔	1	0	0	バ山崎 民藏	0	0	0	バ川村 清身	0	0	1	バ竹下 日吉	0	0	0
コ湯山 幸男	1	1	2	バ藤田 貞藏	0	0	0	バ加藤 繁	0	0	0	バ柳田 治郎	0	0	0
コ三宅 忠義	1	1	1	バ藤田 誠一	1	0	0	バ萩原 蝶七	1	1	1	バ青木 喜三	0	1	0
コ門馬 四郎	1	1	2					バ星野 昇司	0	0	0	バ青木 重次	0	1	0
コ中塚 文夫	1	2	2	バ剣持 幸男	0	0	0	バ星野 盛恵	0	1	1	バ関又左工門	0	0	0
バ石原 竜雄	0	0	1	バ遠藤 与畏二	0	0	0	バ灌本 勇雄	0	0	0	バ横田 好一	0	0	0
バ西井 武	0	1	0	バ宮田 正晴	0	0	0	バ灌ヶ平 初美	0	0	0				
バ土井 上友一	0	1	0	バ鷺見 孝男	0	1	1	バ灌ヶ平 茂	0	0	0				
バ土井 上政雄	0	1	1	バ真部 愈	0	0	0	バ灌ヶ平 敏夫	0	0	0				
バ小沼 佐太男	0	0	0	バ渡辺 利秋	0	1	1								
バ熊谷 正	1	1	1	バ田代 良司	0	0	1								
バ山本 雪信	0	0	0												
バ真野 米光	1	0	1	バ相沢 武雄	2	2	2								
バ寺島 今朝松	0	1	1	バ太田 俊昌	0	0	1								
バ佐藤 憲治	1	1	1												
バ佐藤 忠男	0	0	0												
バ佐藤 和夫	0	0	1	バ古瀬 敏弘	0	0	0								
コ塩田 専治	2	2	2	バ小谷 盛一	0	0	1								
コ五十嵐 徳次	0	0	1	バ秋山 政雄	0	0	0								
				バ齊藤 富吉	0	0	0								
コ田中 清司	1	1	2	バ広瀬 定夫	0	0	0								
コ山本 秀夫	0	0	0	バ半沢 勇雄	2	1	1								
コ安達 武蔵	1	0	0	バ笠原 良夫	0	0	0								
コ志賀 安尾	2	1	1	バ武田伊三郎	0	0	0								
コ志賀 正治	0	0	0	コ後木 章	1	1	1								
コ篠永 鉄雄	0	0	0	バ久保花次郎	1	1	1								
コ篠永 静男	—	—	—	コ松本 豊治	2	2	2								
				バ新井 真	0	0	0								
俣落地地区				コ片野 博	0	1	0								
コ原 藤子	0	2	1	コ唐崎 幸司	0	1	0								
コ大木 敏夫	0	0	0												
コ小林 金司	1	0	0												

旬別個乳検査成績(ランク別戸数)

ランク別 旬別	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	209	93	18	0	0	0	320
中旬	199	95	24	2	0	0	320
下旬	186	96	32	5	1	0	320
合計	594	284	74	7	1	0	960
合格率	61.9	29.6	7.7	0.7	0.1	0	100

地区別個乳合格率

地区 旬	当 幌	中 標津	俵 橋	開 陽	武 佐	第二 俣落	俣 落 均
上旬	100	100	100	100	100	100	100
中旬	100	98.1	100	100	98.3	100	100
下旬	100	96.2	100	94.3	96.6	100	100
月平均	100	98.1	100	98.1	98.3	100	99.2

## 7月乳質検査成績表

中標津農業協同組合

順位	組合員名			組合員名			組合員名			組合員名			組合員名						
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
<b>当幌地区</b>																			
バ	飯島光五郎	0	0	0	バ	高藤祐藏	1	1	0	バ	丸田良夫	0	0	0	バ	金子安有	0	0	0
バ	飯島清一	0	0	0	バ	連田弘	0	0	0						バ	高野国雄	0	0	0
バ	奥田勝佳	0	1	0	バ	永谷雄幸	0	0	0	バ	鈴木重藏	0	0	0	バ	中林勇	0	0	0
バ	奥田岩男	1	1	0	コ	長繩弘	0	0	0	バ	高橋一男	1	1	1	コ	工藤隆弘	2	1	2
バ	中山安寿	0	0	0	バ	麻郷地忠	2	3	0	バ	高平幸夫	0	0	0					
バ	山川健三	0	0	0	バ	小針晴信	0	0	0	コ	中本要次郎	0	0	0	コ	赤波江雪右門	2	2	1
バ	阿部俊勝	0	0	0	コ	佐藤吉次	—	—	—	コ	半沢かね	1	0	1	バ	沢口正志	0	0	0
バ	鈴木吉三	0	0	0	バ	花川秀一	0	0	0	バ	国見正雪	1	1	3					
バ	西垣信男	1	0	1	バ	古沢亀治	0	1	0	コ	斎藤哲雄	1	1	2	コ	目黒茂	0	0	0
バ	小原治	0	0	0	バ	花川稔	0	0	0	バ	斎藤栄七	0	0	1	バ	大西秀良	1	0	1
バ	吉田繁行	0	0	0	バ	今井秀和	0	0	0	バ	伊藤七郎	0	1	1	バ	大西英明	0	0	0
バ	竹村満夫	0	0	0	バ	東原正広	0	0	1	バ	千葉清一	1	0	1	バ	福島昭憲	0	1	0
バ	高橋常次	0	0	1	バ	岡部実	0	1	0	バ	村井直行	0	0	0	バ	下川原秀子	0	0	0
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	渡辺善行	0	0	0	バ	山崎正喜	0	0	0	コ	三輪貞夫	0	1	0
バ	筒井正守	0	0	0	コ	田島育三	0	1	0	バ	松本嘉吉	—	—	—	バ	西山一義	0	0	0
バ	室井太吉	1	0	0	コ	竹村昇	1	2	3	バ	後藤田信夫	0	0	1	バ	佐々木武雄	0	0	0
バ	安田康正	1	1	1	バ	松隈健二	0	1	1	バ	斎須安雄	1	1	1	バ	日下芳	0	0	0
バ	山田一男	1	0	0	コ	小林義忠	0	1	0	コ	今井靖清	0	0	3					
バ	松田昌介	1	1	1	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	山田良太郎	0	0	1	コ	石田春夫	0	1	2
バ	舟田正明	0	1	0	バ	藤本久雄	1	1	1	バ	房川喜延	0	0	1	バ	加茂正毅	1	1	0
バ	菊地良	0	1	1	バ	小川清	0	0	0	バ	笛淵二郎	1	0	0	バ	佐々木政行	1	0	0
バ	遠藤要三	0	1	0	バ	佐藤道嘉	0	0	0	コ	井上亮夫	2	1	2	バ	三友盛行	0	0	0
バ	西山高蔵	0	0	0	バ	佐藤末美	1	0	1	バ	笠井剛	0	0	0	バ	高島貞作	0	0	0
バ	長正路正義	0	0	0	バ	佐藤拡	0	1	0	バ	赤堀岩男	1	1	1	バ	福島信一	0	1	0
バ	大野正己	0	0	0	バ	佐藤永雄	0	0	0	バ	鈴木敏夫	1	0	1	コ	古田起雄	1	1	1
バ	吉成ハナ子	0	0	0	バ	佐藤束	0	0	1	<b>儀橋地区</b>					バ	本田萌	0	0	0
バ	福村守	1	0	0	バ	望月幸男	1	0	0	コ	大山仁三郎	—	—	—	コ	中村敏夫	1	0	2
バ	遠藤弘成	0	0	1	コ	白築政博	1	0	1	バ	名越成夫	1	1	1	バ	真野勇	0	0	0
バ	笠原金吾	0	0	2	バ	武田勇	1	1	3						バ	多田俊夫	0	1	0
<b>中標津地区</b>																			
コ	伊藤政義	—	—	—	バ	高橋敏夫	0	0	1	コ	佐藤清	1	2	2	バ	小岩正一	0	0	0
コ	伊藤政義	—	—	—	バ	熊倉彦吉	0	0	0	コ	大山道夫	—	—	—	バ	伏見哲	0	0	0
バ	綏坂欣一	1	0	1	バ	小林茂雄	1	0	1	バ	乾守夫	0	0	0	バ	中川一平	0	0	0
バ	綏坂恭民	0	0	1	バ	阿部正六	0	0	0	バ	乾勝美	0	0	0					
バ	吉川晴久	0	0	0	バ	佐藤三男	1	0	0	バ	伊東武	1	0	0	<b>武佐地区</b>				
バ	滝場光明	1	1	0	バ	長淵貞義	0	0	0	バ	大山富雄	1	0	1	コ	丹羽孝	1	1	1
バ	久保慶一郎	0	1	0	<b>開陽地区</b>					バ	山下孝二	0	0	0	コ	丹羽正明	1	1	1
バ	久我良夫	0	1	0	バ	土井上昭男	0	0	0	バ	北川栄治	0	0	0	コ	龜井泉	0	1	2
バ	正城純一	0	0	0						バ	水本勘藏	0	0	0					
バ	荒昭一	0	1	0	コ	向館金吾	0	0	0	バ	水本一三	0	0	0	コ	中司哲弥	1	0	1
バ	桜井誠造	0	0	0	コ	山田輝男	1	0	1	バ	山本正八	0	0	0	コ	上原徳保	0	2	1
コ	佐々木繁雄	1	2	1	コ	船越政雄	0	0	1	バ	榎田英雄	1	1	1	コ	工藤政義	0	1	1
バ	佐藤晴信	1	0	0	コ	浅野トミ子	1	1	2	コ	穴吹貞明	0	1	0	コ	舟橋清高	0	1	1
コ	奥村武雄	2	2	2	バ	吾妻寅男	1	1	1	バ	佐藤正義	0	0	0	コ	酒井清志	1	0	1
コ	阿部忠次郎	0	2	2						バ	佐々木文作	0	0	1	コ	目黒雅隆	0	0	0
コ	三森章司	0	1	1	コ	鈴木嵩	1	1	0						コ	千葉弘	2	2	2
コ	川手輝雄	1	2	1	バ	桜井精治	0	0	0	バ	野口忍	0	0	0	コ	工藤剛	2	1	1
コ	下山恵市	0	1	0	コ	横田孝博	2	2	2						コ	児島喜一	1	2	2
バ	石崎多門	0	0	0	バ	高橋寅之助	0	0	0	バ	太田功	0	0	1	コ	児玉光彦	0	1	0
バ	林仁一郎	0	0	0	バ	中本栄太郎	0	0	0	コ	岡次郎	0	1	0	コ	坂口龟一	2	2	1



# くいす???

あなたもやってみよう

【解き方】四枚の絵を見て、連想される言葉をマス目の中に入れてから一重ワクの七文字をうまくならべかえると、ある言葉ができる。その言葉だけをハガキに書いて送ってください。

☆応募規定☆

- ①官製はがきに答えを書いて送って下さい。
  - ②氏名・年令・住所
  - ③対象 小・中学生
  - ④宛先 中標津町東七条南二丁目  
中標津農協 組織農政係
- 〆切日は八月十五日

\*正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決まります。

七月号の正解は「トキハカネナリ」でした。

応募数八名でしたので全員に記念品を差し上げますので農協へとりに来て下さい。

〈南中〉久保美枝子さん、〈南共栄〉大野浩君、〈共和〉小針勝明君、〈南依橋〉久保ゆう子さん、三友津和野さん、三友明日香さん、長町亞紀子さん、長町信行君。

## 材料

ピーマン四個、キュウリ一本、シソの実の塩づけ大きさじ二杯、ミヨウガ一個、ショウガ一かけ、白ゴマ大きさじ一杯、みそ小さじ一杯、塩小さじ一杯半。

## つけ方

①ピーマンはへたをとつて、縦二つ切りにして種をとり出します。

②①のピーマンに熱湯をかけ（またはさっと熱湯の中に入れる）、手早く冷水にとって、みじん切りにします。

③キュウリは少し両端を切り落とし、塩少々をふって板ざりしてから、みじん切りにします。

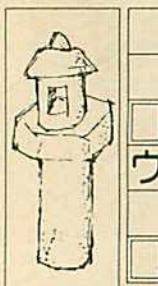
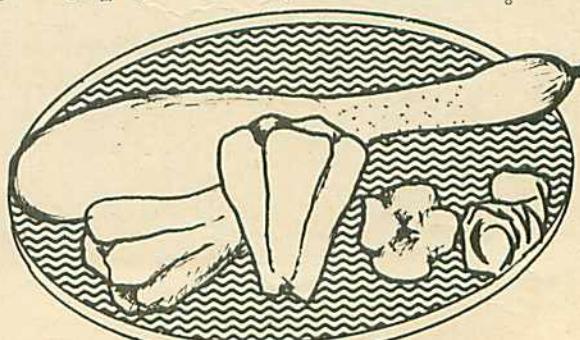
④ミヨウガ、ショウガも各みじん切りにします。

⑤②のピーマン③のキュウリ④のミヨウガ、ショウガ全部を合わせ、分量の塩をふり入れて、しばらくおきます。

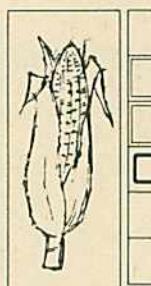
⑥ゴマは炒（い）つてから、あらざりしておきます。  
⑦⑤の水気を固くしぼって即席づけ容器に入れ、⑥のゴマ、シソの実の塩づけ、みそを加えて、上下よくかきませ、軽く押しをします。

五し六時間で全体の味がなじみ、おいしくなります。シソの実の塩ます。

加減で、つける塩の分量は増減するといい。温かいご飯によく合い、食欲がすすみます。おつまみ、サンドイッチ用などにもよろこられます。



ヒント・なし



ヒント・なし



ヒント・小説で沈没  
ン



ヒント・浦島太郎  
ウ